



今年で開校40周年を迎えました

<重点目標>

さかせよう 東っ子の花

東っ子の花

平成26年12月20日
御前崎市立浜岡東小学校
学校だより No. 9

小さい頃に教えてもらったこと

「左側を歩こう」「広がらないように…」

先日の修学旅行では、狭い歩道や階段など、人の多い東京の街中を歩く機会が多くありました。子どもたちには、事前に公共の場を移動する際の注意点は指導してきました。多くの子どもは、「気をつけなければ」と意識して歩行している姿が見られてよかったです。しかし、時々において子どもたちに注意を促す場面がありました。楽しい旅行なので多少広がってしまうのは理解できますが、狭い歩道、しかも雨降りや傘も差している状況もあり、こんな時にこそ周りの人のことを考えた行動ができるといいなと思いました。

また、地下鉄の階段を2列で降りているときのことで、「ちょっと止まって」と歩みを止める指示を出しました。そのとき、一人の子どもから「何で?」と、真顔で聞き返されました。「前の方から『止まって』という指示があったからだよ」「狭い階段を上ってくるお客もいるからね」とその子に説明はしましたが、ただ「止まって」という指示だけでは、その子は理解ができなかったのかと思い、指導の難しさを感じました。

私が小さい頃、両親(特に母親)や祖母から、日常生活のいろいろなことを教わりました。例えば、

「玄関で靴を脱ぐときは、しっかり揃えること」
「ご飯を食べるときは、肘をついて食べないこと」
「いただいたものは、すぐに開けないこと」



そのときは、理由はともあれ「そういうものなんだな」と、子ども心に聞いていたことを思い出します。もちろん成長するにつれ「なぜ?、どうして?」という疑問を感じた時期もありましたが、年を重ねるにつれて「なるほど」と理解できるものも多くありました。小さい頃に教えてもらったことは、不思議に今でも自然と行動できるものです。

こうした所作や仕草は、「相手や周囲を気遣う」、「場をわきまえた行動をする」、「年長者や祖先を敬う」など、人として大切な行動を促すものが多いと思います。小学校入学後は我々教師はその指導にしっかり関わることができます。しかし何と言っても御家庭でのお父さんやお母さんが、お子さんにとって一番身近な大人です。人として何が大切なのか、どんなことをすれば周りが気持ちよく生活できるかなどを伝えて下さい。また近くのおじいさんやおばあさんからの声かけがあれば、子どもたちはより恵まれた環境となります。さらに、地域の方でこうした指導をして下さる方がいればいるほど、いっそう子どもの成長に強力な助っ人となります。

もうすぐやってくるお正月は家族や親戚で揃うことも多いと思います。その際、本校のどの御家庭でも、家族で団らんの場を持ち、子どもたちから「あけまして、おめでとう」ときちんとしたあいさつで、新しい年を迎えることができるといいなと思います。

皆様、よいお年をお迎え下さい。

校長 村松敏男

11月、12月の活動紹介より



1年生 比木の神社で秋さがし



3年生 親子活動
グリーン・トラス音楽鑑賞会



4年生社会科
沖さんから、芋きりぼしについて学ぶ



5年生 JA青年部の御指導で
収穫米をもちつき!



2年生 乗り物探検で掛川へ
きっぷを正しく買えるかな?



掛川城茶室で
抹茶とおかしを堪能

日々の活動の様子を、学校ホームページにアップしています。
ぜひ御覧ください。

走ろう会

天候に恵まれ、めあて達成の集大成の日

「やったー!順位、あがった!」「下がっちゃったけど、タイムすごくよくなったよ!」
これまでの練習の成果を十分に発揮した子どもたち。参観された皆様も、感動を覚えた場面があったのではないのでしょうか。応援ありがとうございます。(写真は、全12レースの各ひとコマです。)

